

令和元年十一月一日発行（毎月一回）
書 象 第六十七巻 第十一号 通巻七六八号

書 象

日本書道芸術協会の
「SHO JAPAN」の
発行所は、東京・丸の内
区千代田にある「書道
会館」です。



日本書道芸術協会

2019-11

巻頭言

日展に想う

副理事長 二瓶 嶽 風

そんなに難しく考える必要はないと思います。

日展は、誰でも自由に低額の費用で出品することが出来ます。しかし、入選するということは針の穴を通すようなもので、厳しい難関をくぐり抜けなければなりません。入選率一割前後がこれを示すものです。しかし、尻込みしては始まりません。蛮勇を振るって挑戦してみるべきです。

大学三年の頃書くことが楽しくて、「何ごとも勉強のつもり」ということで、力もないのに恥も外聞もなく日展に挑戦しました。当然のことながら落選通知とともに、湯山春峰堂様から額に入った寂しげな写真が送られてきたことや、鳩ノ巣『一心亭』での合宿のことなどを思い出しました。

それから落選が四年ほど続いた後、昭和四十四年の秋に初入選を果たすことが出来ました。この時上條信山先生は審査員にあたられており、その恩恵にあずかることになりました。深い感謝とともに、非力さがかりが胸を痛めました。

その後十年以上入落を繰り返し、安定して入選を継続することの難しさを感じました。また、入選したということは、多くの落選者の支えによるものであることを忘れてはいけません。さらに、安定して入選するようになったからといって、のぼせ上がってはなりません。思わぬ落とし穴が待ち受けています。

初めて挑戦するにあたっては、規格・行数・書体など充分に考慮し、なるべく密度のある、しかも努力のあとが見られるようなものを

堅勁 一九六九（昭和44）年



制作したいものです。また、手本のあるなしに拘わらず、自己を表出するためにも徹底的に書き込むことです。

若い心と意欲のある人たちが信山流を愛し、これを持ち越えていこうとする気概は、とても大切なことです。すでに書象会も変革の時を迎えています。後輩の続きたるを思い、さらなる高みを目指して進んで欲しいと思います。

いずれにせよ、信山先生のあの格調高い書風に見る高邁な精神を失うことなく、書象会における日展のあるべき姿を模索し続けていく必要を痛切に感じております。



古道顔色を照らす

11月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

楷書臨書規定【臨規】

(師範・準師範・段位)

化度寺碑

上條信山先生書

髮同瞻
滿月之

髮同(喜) 瞻滿月之

11月20日必着
出品券を貼付

髮

・横画の方向を右上がりに統一し、スピード感のある鋭い線を表現したい。
・背勢の美を意識して書く。
・横画の方向を統一。左右の払いを鋭く。

同、瞻、満、月：背勢の美を縦画で表現する。

同 瞻 満 月 之

之：空間の広さに注意する。

豁
然

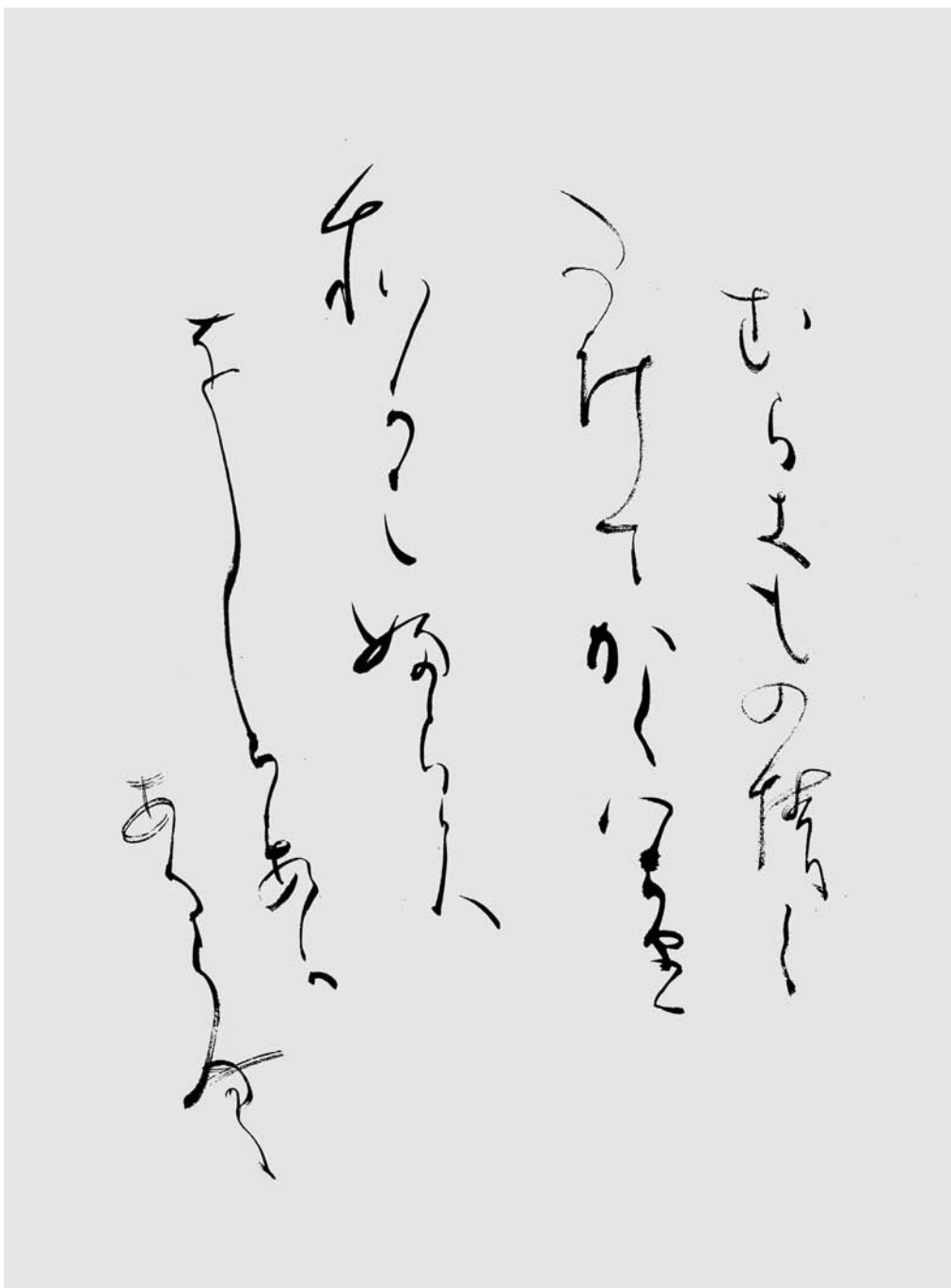
・偏と旁、上部と下部の調和を意識して書きたい。

豁：偏は縦長に、旁の「谷」の一、三画目の左払いを立てぎみに短く払い、偏との調和をはかる。



然：れっか（ㄣ）の方向、位置関係に注意する。





むらぎ（支）もの情く（久）だ（多）け（計）てかく（久）ば（八）か（可）り（里）
わ（和）が（可）こふ（婦）らく（久）をしらず（数）か（可）あるらむ（無）

（万葉集）

11月20日必着
出品券を貼付

・各行の高低、墨の潤
渴の変化に注意を払
う。
・後半に息の長い連綿
がある。軽快に運筆
することを心がける。
・全体構成は左図参照。



「情」

情

「だ（多）け（計）」

だ

「ば（八）か（可）り（里）」

ば

「ず（数）か（可）」

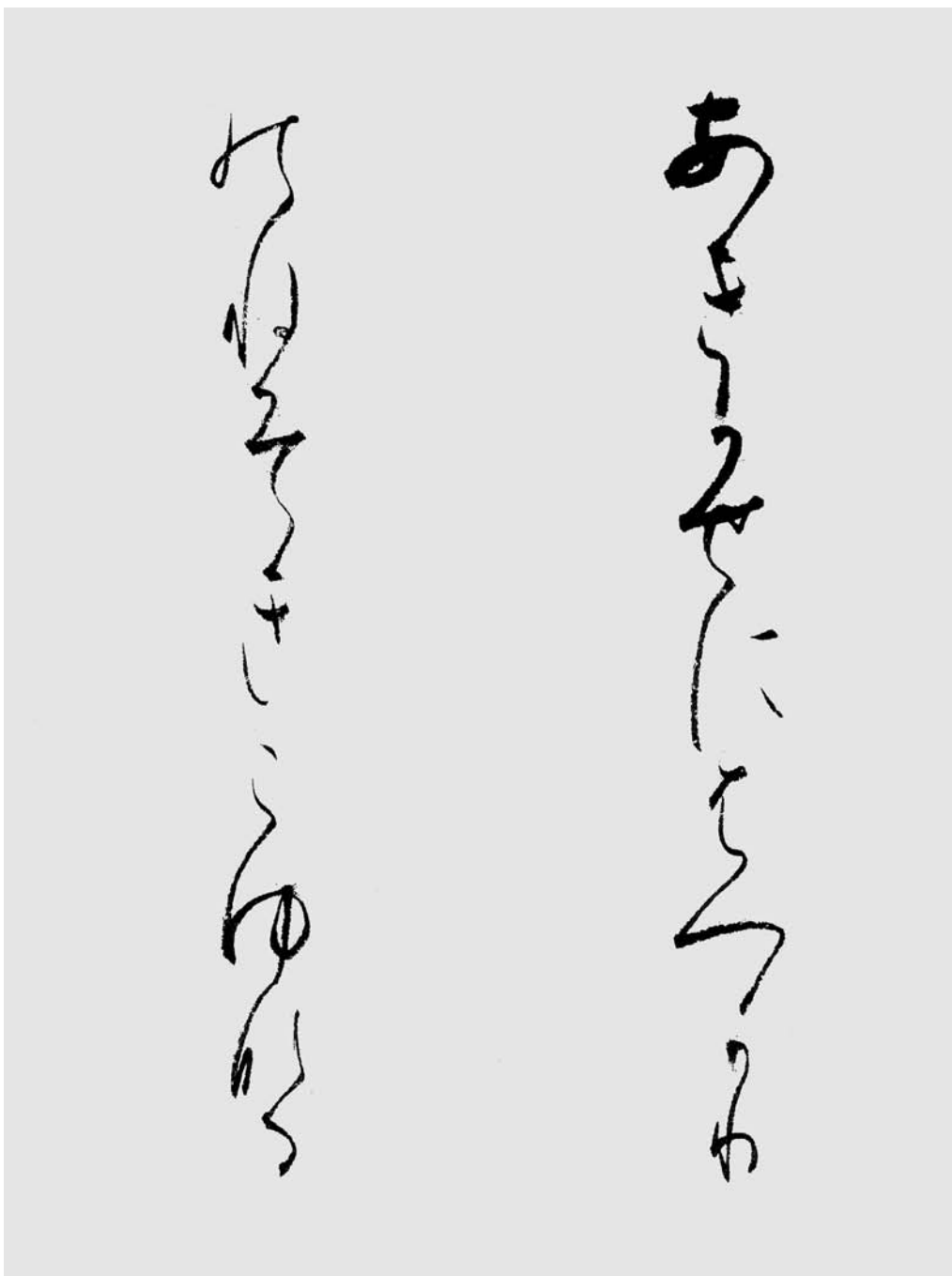
ず

「む（無）」

む

仮名規定【仮規】（級位）

上條 信山 先生 書



あきか(可)ぜには(者)つか(可)り(利)
 の(能)ねぞきこゆな(那)る(友則)

- ・最初に一文字ずつ単体で書いて文字の概形をとらえる。
- ・次に三字、四字、五字連綿を機械的に練習をする。
- ・慣れてきたらリズムよく軽快に書きたい。

「あきか(可)ぜ」



「は(者)つか(可)り(利)」



「の(能)ね」



「こゆな(那)る」



研究【研究】

「張猛龍碑」 臨書

釈文（林）中衣可改留我



移風



市澤静山先生書

杉山曉雲先生書



今月のポイント 大きな運筆を心がけ伸びやかに書きたい。

※どちらか一体を出品してください。

11月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

隷書条幅規定【条規】

樋口玄山先生書

段級位を明記のこと



霜は染めて満林紅（高青邱句）

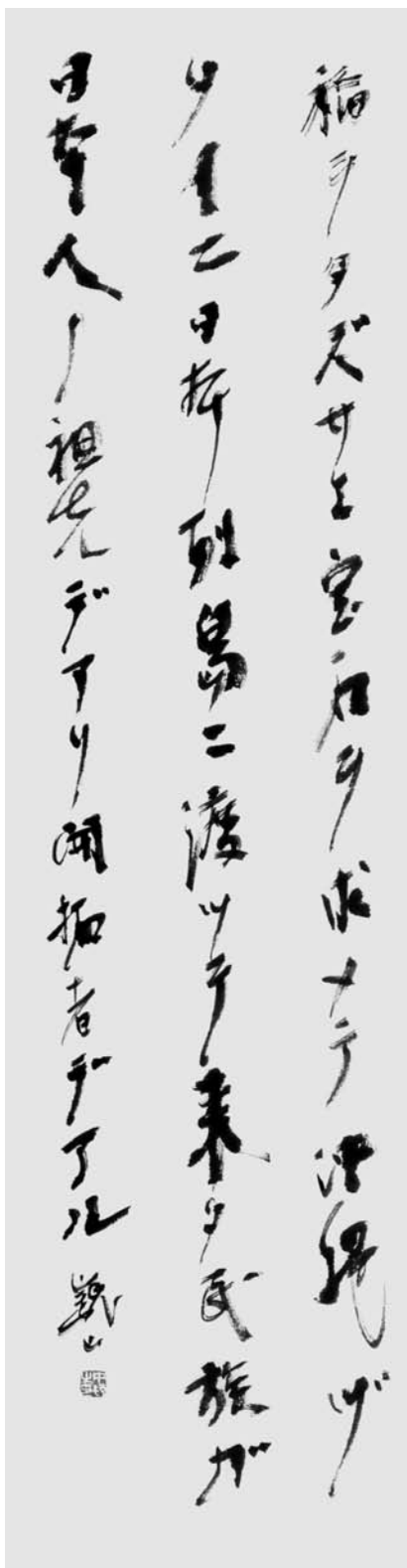
- ・形を扁平にしてどっしりとした風格で書く。
- ・文字の中心の位置取りに注意する。
- ・「満」「紅」はP14参照。

条幅随意【条随】

中村巍山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付



稲ヲタズサエ宝石ヲ求メテ沖縄ツタイニ日本列島ニ渡ツテ来タ
民族ガ日本人ノ祖先デアリ開拓者デアル

- ・カタカナの左払い、長さ方向に変化をつけ、また細くならないようにする。

※自解：上條信山先生の硬筆手本にカタカナを入れてまとめました。調和
体作品制作の一つの方法として参考にして下さい。

読楽
書

中学一年規定 【学毛】

内藤望山先生書

町会
読楽

中学二・三年規定 【学毛】

杉山曉雲先生書

牙走大丸

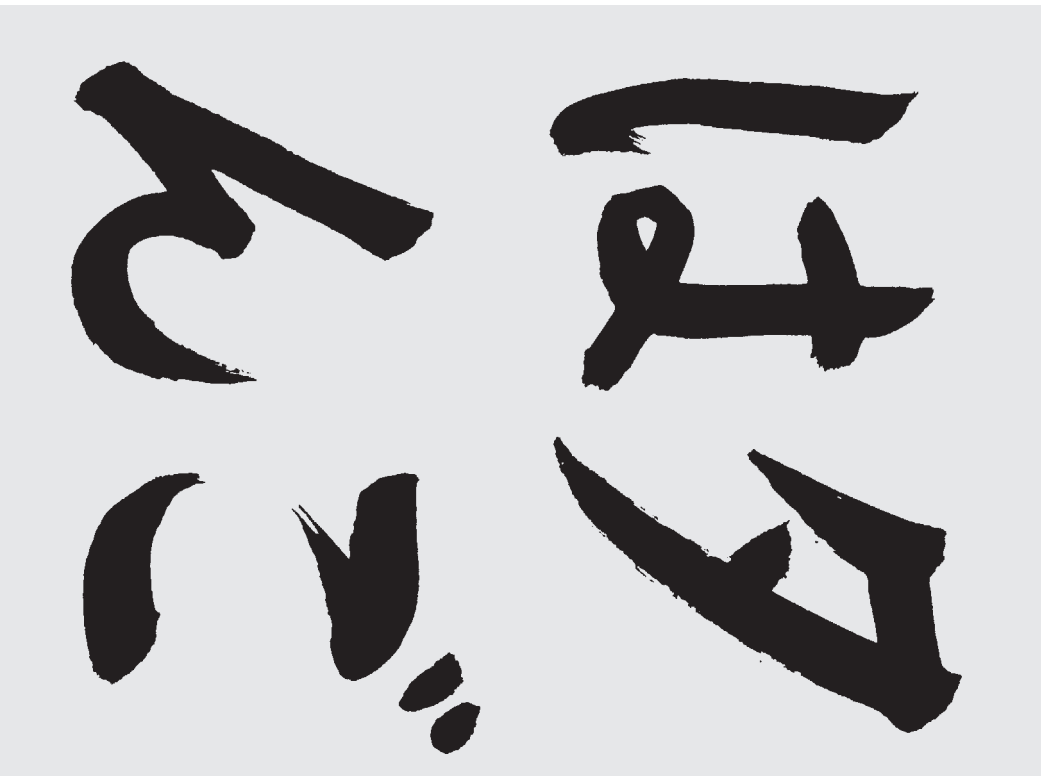
小学五年規定 【学毛】

小渕石峯先生書

存分

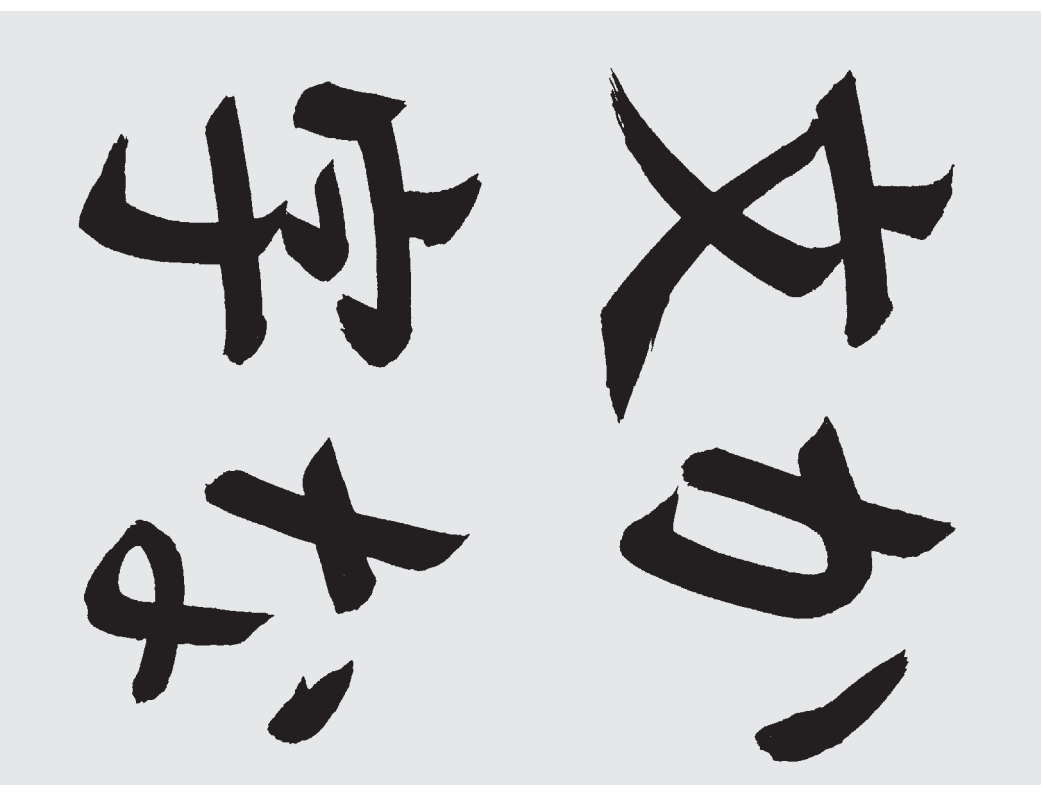
小学六年規定 【学毛】

高瀬霞山先生書



小学三年規定 【学毛】

燕木珠紅先生書



小学四年規定 【学毛】

田中珠光先生書

あし

小学一年規定 【学毛】

樋口玄山先生書

ボリ

小学二年規定 【学毛】

鈴木草影先生書

硬筆規定

一般規定【一硬】（師範・準師範・段位）

上條 信山 先生 書

現代の書は（八）この三千年間に（二）多彩な変貌をとげた。書の傳統を熟視しつつ（一）一方ではその束縛から脱出しようとした。

現代の書は、この三千年間、多彩な変貌をとげた。書の傳統を熟視しつつ、一方ではその束縛から脱出しようとした。

一般規定【一硬】（級位）

藤岡 月華 先生 書

ひとり徒歩で旅したとき、ほどゆたかに考え、ゆたかに存在し、ゆたかに生き、うれた私自身であったことはない。

中学規定【学硬】

中村 巍山 先生 書

漱石枕流とは、間違いを認めずに言い逃れをするような態度のことを言う。

氏 支部 名

小・中学生随意課題【学随】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。出品券を貼付して下さい。

小 一・二年 学	石	小 三・四年 学	活
小 五・六年 学	坂道	中 学	素直

手本解説

・基本 「顔」は左図参照。

・隸書条幅規定「満」「紅」は左図参照。

顔

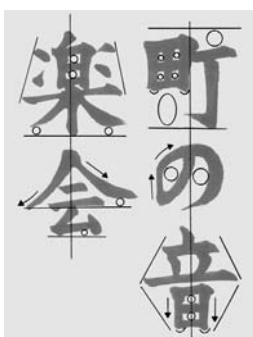
満 紅

・硬筆一般規定（師範・準師範・段位）

「現」「年間」「多彩」「貌」「書」「傳統」「熟」は左図参照。

現貌 書 年 多彩 傳統 熟

学生部規定



中学二・三年



中学一年

「町」は田の空間を均等にし、下部をひろく。「音」は日の縦画を垂直に。「楽」は十画目を長くし、上部との安定を図る。「会」は左右の払いを伸びやかに書き、云は扁平かつ小さめにする。

「楽」の下部、木の書き方は許容。「し」は中心より左から書き、「い」は向かい合う線に丸みをつける。「読」の偏は幅を狭くし右側を揃える。「書」は二画目を最大幅にし、横画を等間隔に。

秋が深まるとモミジやイチ
ヨウの葉が、赤や黄色に変
化していきます。

名前 支部 年 級段

お友だちときれいにす
んだ川の流れてそって
歩きました。

名前 支部 年 級段

父	と	広	ば	で	マ	ラ
ソ	ン	の	れ	ん	し	ゆ
を	し	ま	す	。		

なまえ 支部 年 級段

※出品券を貼付
して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペン使用の
こと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆使用のこと。
作品の大きさ↓たて18 cmよこ7 cm 小一・二課題↓2.1 cmのマス目
の紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1 cm巾の罫線を引く。



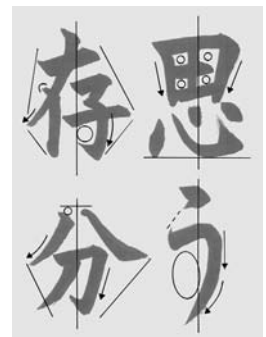
小学二年

「け」は一、三画目の始筆の位置と中央
の余白に注意し「し」は中心より左か
ら書き始める。「ゴ」の一画目の縦部は
やや内側に。「ム」の外形は三角形を意
識する。



小学四年

「か」は一、三画目の余白を広くとる。
「な」は一、二画目の長さや角度に気を
つける。「文」は左右の払いを伸びやか
に書く。「字」はハを最大幅にし、最終
画は中心線上ではねる。



小学六年

「思」は田の縦画を内側に向ける。「う」
の払い早く曲げすぎない。「存」は二
画目の位置に気をつけ、子は中心より右
側に。「分」は一、二画目の払いを方向
に注意し伸びやかに払い最大幅とする。



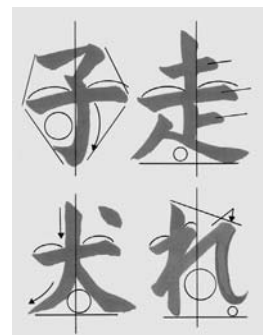
小学一年

「み」は・部で筆を軽く止めてから書き
進め二本の斜画はほぼ平行に書く。
「ち」の一画目は右上がりに。二画目は
中心から書き出し、中心で終わる。



小学三年

「夕」の一画目は短く払い、二画目の払
いは長く平行にする。「ぐ」は筆脈を意
識し、柔らかに。「は」は三画目の始筆
の位置に注意し結びは丸をつけて横広
に。「ん」の二画目の折れはほぼ中心に。



小学五年

「走」は中心を意識し左右の払いが最大
幅になるようにする。「れ」の一画目は
軽く反り、二画目の最後は右上に払う。
「子」の二画目は丸みをつける。「犬」は
二、三画目の接する位置に注意したい。

古典研究シリーズ ④⑦ 【古典】

曹 全 碑

後漢・中平二年（一八五年）

今月のテーマ

写実的臨書

小字（十五字以上）…二回目



存亡之敬。禮無遺闕。是以鄉人。爲之諺曰。重親致歡。曹景完。易世載德。不隕其名。及其從政。

書き方

- ① 文字数は十五字以上。左記の中より選んで書いて下さい。
- ② 落款を入れて下さい。
- ③ 作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。（編集部）

〈ポイント〉

- ・ 各行共に中心線一貫を心がける。
- ・ 墨色の変化をつけ流れを出す。
- ・ 画数の少ない文字は少し小さめに書く。
- ・ 波磔をのびのびと払い、曹全碑の特徴を表現する。

「上條信山近作選 (一九八三年)」その1

一九八三年十月八日から十一月六日まで、松本市民族資料館で上條先生の個展が開催された。美術評論家の田近憲三先生が巻頭の言葉を書かれた「上條信山近作選」から、内藤望山先生に解説を加えていただいた。

① 堅勁 (一九六九年 改組第一回日展)

信山先生六十二歳の作。先生自ら「この語の意味にふさわしく、堅く強く、何物にも妥協しない強固な印象を打ち出せないものか」と考えられていたようで、その思いはあらん限りの筆力で紙面いっぱい埋め尽くされている。見るからに激しく、スピード感に溢れている。深く突きさす線、グッ！と浮かび上がる点は生き物のように躍動している。入筆と共に筆をわずかに浮かせ、筆の弾力を活か



① 堅勁



③ 執

② 神技



しながら次の画に移動する。先生の作品は飛沫美がある。用意していた押さえ紙で、先生の掛け声と共に、私がサッと押さえる。その間合いと押さえ方に緊張の連続であった。大学二年生から四年間、先生の作品制作のお手伝いをさせていだいた。全力で対峙された墨魂には限りなく書の持つエネルギーが存分に封じ込まれていた。

この作品が、この年の日展最高賞である「内閣総理大臣賞」受賞作品となった。

② 神技 (一九六九年 第八回書象展)

どっしりとした風格が印象的である。たつぷりと墨を含み、悠然と佇むさまは、四方の広い余白を得て限りない余裕を感じる。二字の繋がりが絶妙である。正面を向いて鎮座する「神」に対して、「技」字をやや左傾させ、偏強調で左方に重心を持たせ、隣の右払いで軽妙に空間の連なりを見せる。先生の作品では珍しくも静謐な作と言えます。東京美術倶楽部で開催された第八回書象展出品作である。ご参観下さった西川寧先生がこの作品の前に立たれ、静かな口調で話されていた。後で信山先生「西川先生が誉めて下さったよ、珍しいことだ。」と満面の笑顔であった。気品あり、技巧があり、さらりとした筆致で清々しい。

③ 執 (一九七一年 第二十回書象展)

甲骨文からの造形。古文一字の絵画的な表現で実に楽しい。執字の偏「幸」は手かせの形(手にはめて動かせないようにする刑具)、「丸」はひざまずく人の形である。つまり、「執」は捕らえて保持する意を表す象形文字で、造形的に見ても面白い形象である。

鋭角で切り込んだ偏の縦画、三角形と点は人の顔のようである。太めの横画は向勢で構え、豊かな広がりを見せる。これに比して旁は人の手が伸びて掴まえる形と線の暢びやかさがユニークである。形の面白さと書的な線の強さ、深さ、厳しさを有し、立体的で躍動感に富む。信山書法で比類ない古文の名作となった。

(理事長代行 内藤望山)

令和元年度 書象会夏季合宿錬成会

期日 8月31日(土) ～ 9月2日(月)

会場 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

今回の夏季合宿は、福島県の磐梯熱海温泉のホテル華の湯で行われました。十一年ぶり、二回目となります。美しい森に囲まれた自然豊かな環境の中で、身も心も癒されながら書制作に専念することができました。各錬成グループの方より感想を頂きましたので紹介いたします。



ホテル華の湯

錬成グループ・指導の先生方(敬称略)
 総合指導……田中節山・市澤静山
 書象誌半紙……魚住卿山
 信山流条幅……二瓶嶽風・山口啓山
 書象展……中村巍山
 謙慎展A・B……杉山眺雲・樋口玄山
 日展……内藤望山・田中節山・市澤静山・
 担当……柳澤玄嶽・横田小泉



約400帖の大広間で開会式、その後錬成

書象誌半紙

錬成会に参加して

董支部 寺田 眞美

三十一日未明には眼が覚め、早すぎるのは承知で出発しました。参加することに逡巡したのは体

力や気力の点で自信が無かったからです。会場のホテルには、十時前には着きました。受付までの時間も、このまま引き返そうと思った程、気後れしていました。

しかし、その逡巡は実際に始まってみると、前向きな気持ちに変わっていききました。周りの方々の気迫が熱気が、真剣さが、私自身の気持ちにも化学変化を起こしたようでした。そしてそれ以上に御指導の諸先生方の厳しいながらも温かい御指導を直接頂いたことです。

半紙の御指導の魚住先生の学識豊かな解説と理論派らしい丁寧で分かり易い御指導に導かれ、困難と思われた課題の一つ一つをクリアしていくと、次第に文字を何の気負いも持たずに書くという初心に返れた様でした。今の能力以上の課題に挑戦させて下さった先生に心より感謝致します。



魚住先生が直接筆をとって指導



逆筆、蔵鋒について説明

信山流条幅

初めての合宿参加 房風会 平野 里奈

初めて合宿錬成会に参加させて頂きました。全国から参加する大勢の皆さんと共に稽古に励む貴重な経験となるため、期待と不安の中、合宿に臨みました。

信山流条幅のグループは、山口先生と二瓶先生から懇切丁寧なご指導を頂き、「筆の持ち方」や「筆の運び方」など、初心に返り、改めて基礎基本から学ぶことができました。

合宿以前は、スピード感に欠けた、鈍く線も汚い、全体的にバランスが取れない事に悩んでおりましたが、先生方から流れるような筆運びによる、美しく深みのあるお手本を頂き、とても勉強になりました。その後も先生方の熱心で的確なご指導



信山流の基本線を教える二瓶先生



信山流の解説をする山口先生

書象展

合宿に参加して 倭支部 福里 眉月

沖縄から一昨年より連続して参加しています。

夏季合宿は、諸先生方の熱心で親切な指導のもと、受講生の皆さんの意欲的な錬成の中で共に学べる喜びがあります。また総合指導の先生方と中村巍山先生のアドバイスを受け私達の作品がより映えるようにしてくださり大変勉強になりました。巍山先生からお手本を書かれる時の筆の持ち方、ス



信山流条幅グループの添削風景

のおかげで、僅かですが、改善できた部分も実感しております。先生方や今回ご一緒にお稽古した皆さんからの「教え」をこれから

に生かして書道に励みたいと思います。最後にご指導頂きました山口先生、二瓶先生はじめ、本部の先生方のご指導に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



中村先生が一人一人に手本揮毫



書象展グループの錬成風景



具体的な添削指導

ビード、リズム、線の表現等何度も直接教えて頂きました。隣グループの魚住先生からは、信山流のコツ等助言して頂き視点を変えて学ぶこともできました。

毎年の会員の方々との出会いは翌年の楽しみにつながり、素敵な作品を見る機会は今後の目標や希望になります。合宿での経験を生かし表現力豊かで、人に感動を与えられる書道を書けるよう精進していきたいと思います。最後になりましたが、先生方スタッフの皆様方がありがとうございました。

謙 慎 A

久しぶりの合宿参加 倚雲支部 田中 光瑠

何年ぶりかで参加させていただき、懐かしい先生方や友（いや戦友かな）との出会いがとても嬉しく思いました。一緒に過ごすとは戦友になってしまふこの合宿の不思議な雰囲気。業者の方にも懐かしい顔が見えて嬉しくなりました。お料理も美味しくいただき、最高の環境の中で書道をさせていただいて、なんともすばらしいです。

この三日間、先生方には、こののみこみの悪い私に根気よく教えてくださり、感謝しかありません。自宅に帰って楽しかった事を、庭の花達に報告すると、『しっかり精進しろよ』と言われているような気がしました。

一人で行くのが不安でしたが若い同士と魚住先



謙慎Aグループの添削指導風景



杉山先生より丁寧な手本解説



難しい大字作品に挑戦

生にお世話になり、支えていただきました。ありがとうございました。帰り道、市澤先生と一緒に食べたおそばもお話もおいしかったです。来年も楽しみにしております。

謙 慎 B

合宿の醍醐味 高風会 山田 白葉

今回は書友に誘われて久しぶりの合宿参加でした。当初は緊張と不安の中で始まった錬成も、担当の先生の熱心な指導、樋口先生からは細やかな添削をして頂き無我夢中で作品に取り組む事が出来ました。又、他の方の作品を見る機会にも恵まれ、更に意欲が湧き自分の指摘された事を念頭に、次は次はと思いつら持参した紙は全て使い、心残りさえ感じた次第です。

担当の先生

の指導や他のグループの先生にもご批評を受けたり、先生の自在に筆を動かす様子に感動いたしました。更に日展始め他の方の作品鑑

日 展

合宿で刺激

玄黙支部 秦 頼山

私は一昨年から合宿に参加させていただき今年で三回目になります。東京から車で三時間余りかかり合宿所のホテル華の湯に着きました。東京に比べると気温も湿度も低く過ごしやすい気候で、

賞では刺激を受け、これぞ合宿の醍醐味と感じました。本部の先生方や新しい書友との出会いに感謝しつつ心地良い疲労感と共に宿を後にしました。



謙慎Bグループの添削指導風景



内藤先生の丁寧な指導

窓から外を見ると美しい山々が広がっていました。普段マンションの一室で独りで書いているのとは違い、開放感のある空間の中で周りを見ると幹部の先生も含めて全員が真剣に創作されていて、大いに刺激を受けながら錬成に励みました。

指導の先生方から逆筆の意識や含墨の工夫など様々なアドバイスをいただき、三回目の添削ではようやく合宿前に書いた作品を超えることができました。有意義な時間を過ごすことができ、合宿に参加して本当に良かったと思います。



日展最終選考に向けて緊張感が漂う



日展グループの錬成風景



添削指導風景

宴会



2日目夜の宴会風景



加賀美さんの乾杯の音頭



ホテルの宿泊券が当たるジャンケン大会

作品鑑賞会



最終日の作品鑑賞会



田中先生より作品の講評

夏季合宿練成会を終えて

合宿担当 柳澤 玄嶽

今回の合宿は、十一年ぶり二度目となった磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」で、開催いたしました。東日本大震災の爪痕など微塵も感じさせないリニューアルされた会場は、大変素晴らしいものでした。広く明るい錬成会場、充実した宿泊施設、豊富な湯量の温泉、美味しい食事と、参加された皆様からの好評を耳にすることができ、担当として安堵いたしました。

昨年の一泊二日だった日程を、二泊三日に戻したことも内容の充実につながったように思われます。日中の錬成は勿論のこと、夜の自由錬成へもほとんどの方が精力的に参加され、夢中になって筆を運んでいる姿を拝見するとき、合宿の意義を改めて確認させられた感がありました。

沖縄を含め全国各地から、大勢のご参加を賜りました。お仕事や家事を調整してお休みを取られ、重い荷物を持って参加されたのではないでしょうか。例年通りの内容で実施することができたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

上條信山記念展示室参観と晩秋の安曇野を巡る穂高温泉一泊の旅

松本市美術館上條信山記念室は、2004年にオープンし、17年が経ちました。そして10月からの企画展示「作品たちの晴れ舞台②」（書象誌10月号17ページ参照）が50回目の企画展示となります。この節目に、上條信山記念展示室参観と晩秋の安曇野を巡る穂高温泉一泊の旅を実施いたします。

書象会の皆さん、上條信山先生の作品は、いつも私達が訪ねてくるのを待っていてくれます。そして、優しく烈しく語りかけてくれることでしょう。そしてまた新たな感動を与えてくれるでしょう。

今回はアルプス連峰を随えた安曇野を満喫する企画も用意いたしました。都会の喧騒からのがれ、名湯に浸ってひと時の安らぎに身を任せてはいかがでしょう。今回宿泊の穂高ビューホテルは、天皇陛下が皇太子時代に何度となくご宿泊された由緒あるホテルです。必ずやご満足いただけるものでしょう。奮ってご参加下さいますようご案内いたします。



【期日】 11月27日（水）・28日（木）

【費用】 16,000円（宿泊費・松本市美術館入館料など）

【行程】

11月27日（水）

午後1時 松本市美術館集合
～上條信山記念展示室見学
～穂高温泉・穂高ビューホテル着

11月28日（木）

午前9時出発～穂高駅周辺観光安曇野
禄山美術館・穂高神社など見学
現地解散



【申込締切】

11月8日（金）書象会本部までお電話ください。
電話 0422（53）9743

定員24名になり次第締め切ります。なお、松本駅までの往復交通費はこの費用に含まれておりませんので、ご承知おきください。



第五十一回全国学生書道展募集規定

主催 日本書道芸術協会（書象会）

応募資格

大学生・高校生・中学生・小学生（幼稚園・保育園児の出品も可）

作品寸法

半紙 33・3×24・3cm ただし対幅・横書きは認めません。

出品点数

一人何点でも出品できます。

作品内容

※ただし同一内容の作品を複数出品することは不可とします。

語句・書体とも自由（書象誌の月例課題でも可）※表装不要

※「洗濯で落ちる墨」は表装した際に滲んでしまうので、使用しないでください。

出品料

1点500円

※送金は同封の払込用紙にて、郵便局より払い込んでください。

受付期間

二〇二〇年三月二日（月）～六日（金）

※三月六日（金）作品必着のこと。

送り先

〒一八〇・〇〇〇一 東京都武蔵野市吉祥寺北町四・三・六

書象会 全国学生書道展事務局

TEL 〇四二二（五三）九七四三

審査

作品各個について中央審査員が厳正公正に行います。

褒賞

審査の結果、優秀なものに次の賞を授与します。

◎個人賞

信山先生記念賞……………副賞・賞状

日本書道芸術協会大賞……………副賞・賞状

◎団体賞

最優秀団体賞……………副賞・賞状

優秀団体賞……………副賞・賞状

日本書道芸術協会準大賞……………副賞・賞状
全日本書道連盟奨励賞……………副賞・賞状
推薦書象賞……………副賞・賞状

◎最優秀指導者賞

特選……………副賞・賞状

特に優秀な団体の指導者には、副賞を授与します。

金賞……………副賞・賞状

銀賞……………賞状

銅賞……………賞状

入選……………賞状

成績発表

第五十一回全国学生書道展会場（二〇二〇年六月・国立新美術館）にて、金賞以上の入賞者を発表するとともに、上位入賞作品を展示いたします。その後、書象誌および書象会ホームページにて、金賞以上は氏名を、推薦書象賞以上

は氏名と作品写真を発表いたします。その他については賞状の発送をもってかえさせていただきます。

表彰式

会期中、上位入賞者を対象とした表彰式を行う予定です。詳細は決まり次第、追ってご案内いたします。

なお、第五十一回全国学生書道展は第五十九回書象展との同時開催です。ぜひ会場へ足をお運びください。

出品上の諸注意

(1) 作品の表面左下に鉛筆で「出品目録番号」と「整理番号」を必ずご記入ください。

作品表面

(支部名)・学年・(氏)名

No. 5 - 1 - 20

整理番号 (ロ)

出品目録番号 (イ)

(2) 「出品目録」は必ず本展所定のもの（十二月に各支部宛に発送予定）をご使用ください。また作品とともにお送りください。

第31回さざ波会書展

会期 八月二十日(火)～二十五(日)
会場 こみなと稲毛ギャラリー
主宰 池上湖心先生

初秋の風を少し感じる八月の下旬、こみなと稲毛ギャラリーにて令和最初となる「第三十一回さざ波会書展」を開催いたしました。

今回の書展は、臨書を含め楷書、行書、篆書などの三十六点の作品に加え、出品者全員による「春の七草」「秋の七草」と「令和」の三幅が加わりました。さらに、令和の文字を書く「体験コーナー」と「令和」の三幅が加わりました。世代の方々が味のある文字を書いてくださいました。ちょうど良い空間と広さに様々な作品があり、素直で心が洗われるようであることや、小学生の「大きなダンボールに大きく一文字を書いた作品」や「条幅の作品」に関しても、力強く伸びやかで素晴らしいとの感想をいただきました。

会期中には、書象会の先生方や千葉市内の書道関係者の皆様をはじめ大勢の方々が来場され、温かい励ましの言葉をかけてくれました。

令和初の記念すべき書展を終え、次年度の開催に向け会員一同、日々精進していききたいと思っています。

(井上葉楓記)



「令和」の字を書く体験コーナー



笑顔で記念撮影

木曜会 古典臨書作品

木曜会は古典研究の発表の場でもあります。大きな展覧会出品時は作品研究です。作品づくりに古典研究なくては深化はありません。その研究成果をご覧下さい。

風信帖 (空海)

杉山窓影

忽披枉書と鎮陶尔卿香雨農及左衛士替
尊書状並謹領訖由以法隊時閑談技
過此法期披雲日逐所奉此中

空海の代表作とも言える「風信帖」の中にある「忽披帖」を半切に臨書した秀作である。原帖は横物であるが、よく特徴をとらえて、三行に作品風に書き上げている。形を守りつつも、下へ下へと美しい脈絡をとっている。字の大小長短の表現にも創意が見られて見事。空海の書風躍如。

(解説 田中節山)

金文 (周代)

長谷川 石心

中曾一公門谷木
軒果不須了且南

「大孟鼎」からの節臨、大小長短の選文は変化あり、効果的である。等圧度(同太)の線質で、よく暢びていて美しい。逆筆による筆力は強く深い。字形・字間・行間がよく整備されていて、謹厳で斉整、雄強の風格を示す努力作です。

(解説 内藤望山)

祭姪文稿 (唐 顔真卿)

江上 玄光

夫不佞福祿有基焉金
不遺殘百身何贖

今春の顔真卿展、連日の大行列は顔真卿の人気の高さを再認識することとなった。祭姪のコーナーへ入るには70分待ちと表示されている。玄光さんの近年の雄渾な書的心境の高さは顔真卿研究の成果だろう。祭姪の中でもこの部分はいちだんとおそれから、習う者の気宇を大きく育ててくれる所だ。豊かな含墨で挑まれた学書的確さを大とする。

(解説 杉山曉雲)

正師範紹介

感謝



梶友支部

関根 虔 山

この度は正師範の認定を頂き有り難うございました。書道は近所の方にさそわれて、六〇歳の手習いとして何もわからぬまゝに妻と共に始めました。先生を始め先輩方に御指導を頂き、今日に至っています。心より深く感謝申し上げます。

今年喜寿を迎え、二重の喜びでございます。「書は一生の稽古なり」の言葉を忘れず、これからも先生の御指導のもと、書を楽しみたいと思います。

特待生紹介

感謝



大象会支部 中二

木村 遼

私は小学二年生から書道を始め、毛筆特待生になれてとてもうれいす。毎回、細かく的確なアドバイスをくれた先生にとっても感謝しています。七年間、私にたくさんのお話を教えてくれてありがとうございます。支部長先生より一言 特待生おめでとう。いつも穏やかで真摯に課題に取り組む姿は素晴らしい。他の生徒のお手本です。

特待生になって

大象会支部 中二

齋藤 百花

小学校一年生の時から書道を習いはじめて、七年間が経ちました。そして硬筆で特待生になることができました。いつもいっしょに教えて下さった先生のおかげです。次は毛筆も頑張ります。これからもずっと書道を続けていきたいです。支部長先生より一言 特待生合格おめでとう。継続することの大切さを学んだことと思います。いつもニコニコとして教室を和やかにしてくれます。

私の目標



有象虹支部 中二

井口 愛理

私は今まで書道をやって来て、目標を高く高く、日に日に上げていました。とにかく、その目標にたどりつけるように頑張りました。今では私の目標であった特待生になれてとても光栄です。更に努力していきたいです。支部長先生より一言 初回の二冠達成見事です。教室のよいお手本を示してくれました。更なる飛躍、楽しみにしています。

感謝の気持ち



若松支部 中三

小笠原 董

今回、毛筆に続き硬筆でも特待生になれて嬉しいです。小学三年生からずっと優しく指導して下さいました先生と、支えてくれた家族に感謝しています。これからさらにもっと美しい字が書けるよう頑張ります。支部長先生より一言 真面目な模範生の董さん、二冠達成おめでとう。先生も嬉しいです。これからも大いに期待しています。

目標達成！

倭支部 中一

中嶋 彩子

小学校三年生の夏から始めた書道。あこがれの特待生に向かって、たくさん練習してきました。いつも優しい先生方、家族、仲間達に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも頑張ります。ありがとうございます。支部長先生より一言 明るく活発な中学生です。何事にも精一杯挑戦する姿が素晴らしい。吹奏楽・勉強・書道にガンバレ！！

二冠達成



美二支部 中三

鳥部 智佳子

硬筆に続き、毛筆でも特待生になりました。めっちゃうれしいです。中学生になり部活と塾で教室にいけなかった時もありましたが、家で繰り返し練習しました。書道を始めいろいろな事を学び私の一生の宝物です。支部長先生より一言 二冠達成おめでとう。次は進学が待っています。智佳ちゃんの頑張りが目標達成出来ます！！頑張れ！！

努力の積み重ね



柏心支部 中二

西澤 美菜子

書道を始めて五年。中学卒業までに特待生ノを目標に励んできました。様々な賞を受賞でき、特待生になったのは、成沢先生のご指導と家族の応援のおかげです。ありがとうございます。今後心を決めて書きたいです。支部長先生より一言 目標達成おめでとう。比較的遅く始めたのに熱心な努力を重ねた結果です。師範を目指して変わらぬ努力を。

夢の特待生



柏心支部 中二

大谷 優

小学一年生から始めて、夢の特待生になることができました。自分の努力でもありますが、一番は指導してくれている成沢先生のおかげです。ありがとうございます。これからも大好きな習字を続けていきたいです。支部長先生より一言 努力で勝ち得た特待生おめでとう。いつも私のアドバイスに素直に耳を傾け熱心に取り組みだ結果ですね。

特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

目標



竹華支部 中三

穴戸 優 空

小学校一年生から始めた書道で目標としていた特待生になる事ができ、とても嬉しいですよ！今回、目標を達成したと共にまた新たな目標ができました。その目標に向かって再度気を引き締めて頑張ろうと思います。支部長先生より一言 いつも静かに取り組む姿勢はさわやかな涼風を感じさせます。確実に力をつけております。楽しみ！！

集中力



竹華支部 中三

澤井 杏 美

私は、初めて特待生を受け、一回でなれるなんて思っていなかったので正直驚きました。中学校生活が忙しい中、習字に行く楽しさや、集中して書く達成感を教えてくれたのは先生でした。これからも頑張りたいです。支部長先生より一言 明朗活発、誰からも好かれる女の子。その上やる時はやる、一点に集中する精神力が素晴らしい。

感謝



芙蓉第五支部 中三

玉川 小 遥

毛筆に続き硬筆も、特待生に合格できてとても嬉しいです。ご指導くださった先生、送り迎えをしてくれた家族、一緒に頑張ってきた友だちに、感謝をし、これからの生活に活かしていきたいと思います。支部長先生より一言 二冠達成おめでとう。積み重ねの努力でしたね。これからも色々の事に、頑張ってください。

次は硬筆！



珠悠支部 中三

吉田 真 優

今回、小学校入学前から、同じ教室の中学生や高校生をみてあこがれていた特待生になることができてとても嬉しいです。長い間、教えていただいている先生にとっても感謝しています。次は、硬筆でも頑張ります。支部長先生より一言 部活や塾で忙しい中、いつも真面目に取り組んでいます。真優ちゃんの伸び伸びとした線の様にこれからも元気に頑張ってください。

特待生になって



珠悠支部 中三

高木 奏 音

私は、小学生のころから習字を習い始めました。そして今回特待生になることが出来てとても嬉しく思います。これからも、もっと美しい字が書けるように努力したいです。支部長先生より一言 硬筆特待生合格おめでとう。静かに忍耐強く取り組み、しっかりと文字が書けます。更に頑張ってください！

感謝の気持ち



平成支部 中二

星 見 愛 心

私は、小学校一年生から書道を始め、大きな目標であった「特待生」というのを達成することができてとても嬉しく思います。このような目標を達成することができたのは先生の教えのおかげでとても感謝しています。支部長先生より一言 特待生合格、本当におめでとう。真摯な態度で稽古を続けてくれました。これからも頑張ってください。

合格



皓花支部 中三

森下 紗英音

私は、小学校一年生から習字を習い始めました。上手に書けなかったりするときもあったけど、先生にアドバイスをもらったりして合格することができました。次は硬筆も合格できるように頑張ります。支部長先生より一言 紗英音ちゃん、合格おめでとう。コツコツと努力しましたね。硬筆ももう少しです。頑張ろうね。

感謝



皓花支部 中一

郡司 咲 紀

私は書道が大好きです。特待生。それは、私の自信につながりました。私が書道を大好きになれたのも、今まで続けてこられたのも、先生のおかげです。これからも感謝の気持ちをもち更なる高みを目指していきます。支部長先生より一言 何でも器用にこなす咲紀ちゃん。力強い線で、落ち着いて作品を仕上げる事ができます。合格おめでとう。

念願の特待生



久喜支部 中二

池田 心

私は、特待生を目標に今まで頑張ってきました。部活との両立で大変な時もありましたが、先生や両親の支えもあり念願の特待生になることが出来ました。次は、毛筆での特待生を目標に頑張っていきたいです。支部長先生より一言 部活との両立の中、よく頑張りましたね。次の目標に向かって、更なる前進を期待しています。

少年少女のページ

「わたしの会の仲間達」

一葉支部

小五 追田 直哉



書道を始めてから字を書く事が大好きになり、きれいな字を書こうという気持ちが出て来た、と言う。さわやかで明るく、休まず熱心なので上達が早いです。

高社支部

小六 清水 麻央



書道展では常に上位賞を受賞。先輩達も彼女の書く作品には感嘆の声を上げます。実はピアノもかなりの腕前。スキー競技にも励むスパーガールです。

高社支部

中二 山本 沙弥



落着いた所作で稽古に取り組む事が出来、皆のお手本の様な沙弥さん。中学では卓球部で活躍。書道では特待生になれるのも間近。応援しています。

虹友支部

小三 青柳 莉瑚
小六 青柳 勇利



姉弟仲良く、休まないでお稽古に通っています。他には英語やピアノと忙しい毎日です。莉瑚ちゃんは最近メキメキ上達して画数の多い名前も見事です。

練馬支部

小六 原田 流奈



学校では吹奏楽部でチューバを担当したり、キャッチボールに参加する活発な面と、器用な指先を使い小さな紙で折鶴を作る繊細で優しい生徒さんです。

練馬支部

小六 津久井 杏南



学校の吹奏楽部ではフルートとピッコロを担当。厳しい練習も休まず励んでいます。書道が上達したい気持ちが前向きで、その取り組み方に感心しています。

一絵支部

小六 薄井 光悠



内に秘めた闘志は勉強、運動、書道と、どれも気を抜かない頑張りやさんです。書道の腕前は勿論、人の作品を見事に評価するセンスがあり将来有望です。

一絵支部

中一 熊田 虹大



頼んだ事はきっちり守ってくれるしっかり者です。大人顔負けの考えを持ち学級副委員長に選ばれました。お稽古も休まず作品も素晴らしい教室の人気者。

大田支部

小六 蓮見 優空



優空ちゃんは、サッカーのクラブチームに所属しキャプテンを務めている活発な女の子。書道とサッカー、どちらにも才能を発揮しています。

杉月支部

小六 江上 結南



いつも笑顔の結南さん。高学年では合格一番乗り。多くの数枚を書き、更に次のステップへがんばるエネルギーな六年生。ファイト！

杉月支部

中三 長元 虹歩



特待生初めての挑戦で見事合格。左利きを見事に克服。高校書道の仮名学習に備えて次の目標は細字・仮名を右手で書く事と決めた猛練習開始。ガンバレ！

虹友支部

小四 佐々木 結菜



結菜ちゃんの今一番好きな物は鳥です。オオルリ、コルリ、ツル等です。そして次は、文字を書くことです。これからも頑張っ下さいね！のしみになっています。



△隷書条幅▽ 評 荻田 光山

杉本統華 気力に満ちた秀作である。

高平光紗 字形もよい。

上條賢山 位置、字形、大きさよい。

小西琴月 格調もある。

三澤泰仙 墨量豊かにして彩やか。

山下静京 線質も深い。

藤原鐘雪 明確な起筆。筆勢のある

手本を誠実に観察して書

いている。

重厚な線で一点一画ゆる

ぎなく書けた。

細みだが線に切れ味あり。

落款がうまい。

深みのある線質。字形も

よくとらえた。

大島紗光

△条幅随意▽ 評 寺尾 碩雲

桑野小琇 大胆な動き。墨色の变化

も豊かで良い。

藤牧峰雪 力みのない運筆。品格も

ある。

佐藤茜沙 墨量豊かで、骨力に富ん

だ秀作である。

△通信条幅▽ 評 大澤 梢光

横田四葉 線質、文字構造共に優れ

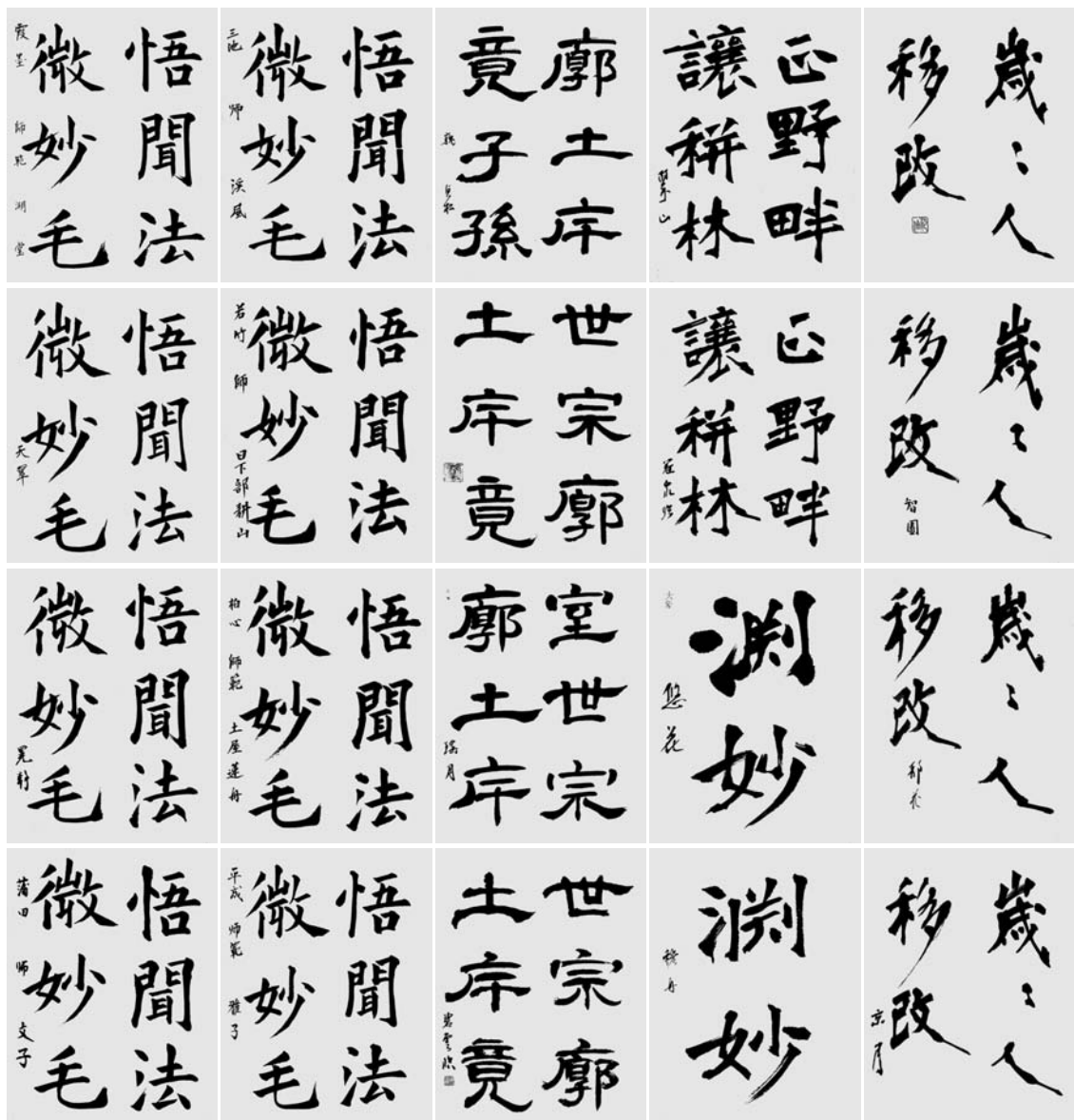
た雄大な作。

垣内孝仙 丁寧な筆緻、安定感ある

線が素晴らしい。

三浦径石 リキミのない滑らかな運

筆がよい。



基本課題

評 山口 啓山

花 仙 含墨充分で格調高き雰囲気あり。
智 園 大胆な運筆で氣力の充実感が伝わる。
静 花 全体構成良く五文字の調和が見事。
京 月 骨力のある筆法で緊張感が溢れる。

研究課題

評 樋口 玄山

林田翠山 北魏特有の大きな構造をよくとらえた。
塩川冠泉 直線的な運筆、大きな腕の動きが魅力。
齊藤悠花 大胆な含墨、表現に作者の主張あり。
加藤穆舟 正確な形態把握、緊張感のある作品。

古典課題

評 二瓶 嶽風

小柳貞松 逆筆を効かせた強い線と明るさが良い。
齊藤泉秋 静かな雰囲気中で伸びやかな波瀾が魅力。
金澤瑠月 各段の頭を揃えて余白の美しさ効果的。
納戸碧雲 送筆の変化が躍動感と生彩を見せて佳。

師範部

〈楷 書〉

評 寺尾 碩雲

虎本溪風 細部まで気を抜かず運筆した秀作。
旦下部耕山 六字の空間処理が絶妙な一作。
土屋蓮舟 一点一画が揺るぎない力で満ちている。
小松雅子 基本的に忠実に、真面目な学書がわかる作。
鈴木湖堂 横画が伸びやかで、印象に残る佳作。
高橋天翠 全体観が大変明るく、混濁が一切ない。
宮澤晃静 墨含みが大変よく、落ち着いた秀作。
瀧内文子 ふくやかな造形で、ゆとりある一作。



金山雨虹 切れ味鋭い運筆が印象的ですばらしい。

浅見康絹 字形が大変美しく、線質と共に大佳。

岸 葉草 軽やかな筆運びでありながら力強い秀作。

杉本千景 落款の細部まで気分よく書けた佳作。

大井沙雪 おだやかな起筆ながら力の込めった一作。

橋爪里和 穂先の使い方がよく、緊張感がよく出た。

平野寿汀 無駄な力が入らず、さわやかさが大佳。

菊地恵爽 字形、運筆、墨量いずれも見事な一作。

〈仮名〉

評 竹内 墨洋

吉池採舟 紙を切り裂くが如く強い線が印象的。

荻原梓虹 スピード感をおさえ牧歌的な響きあり。

関口越山 起筆の鋭さから線の豊かさへの表現見事。

上條恵香 墨の濃淡の表現が自然で収穫の秋感あり。

三和玉蘊 線の細太にスピードコントロールが巧み。

中島泰薫 線をしっかりと見せながら穏やかな流れ。

穴戸隼山 潤筆が重くならず渴筆が弱くならず秀作。

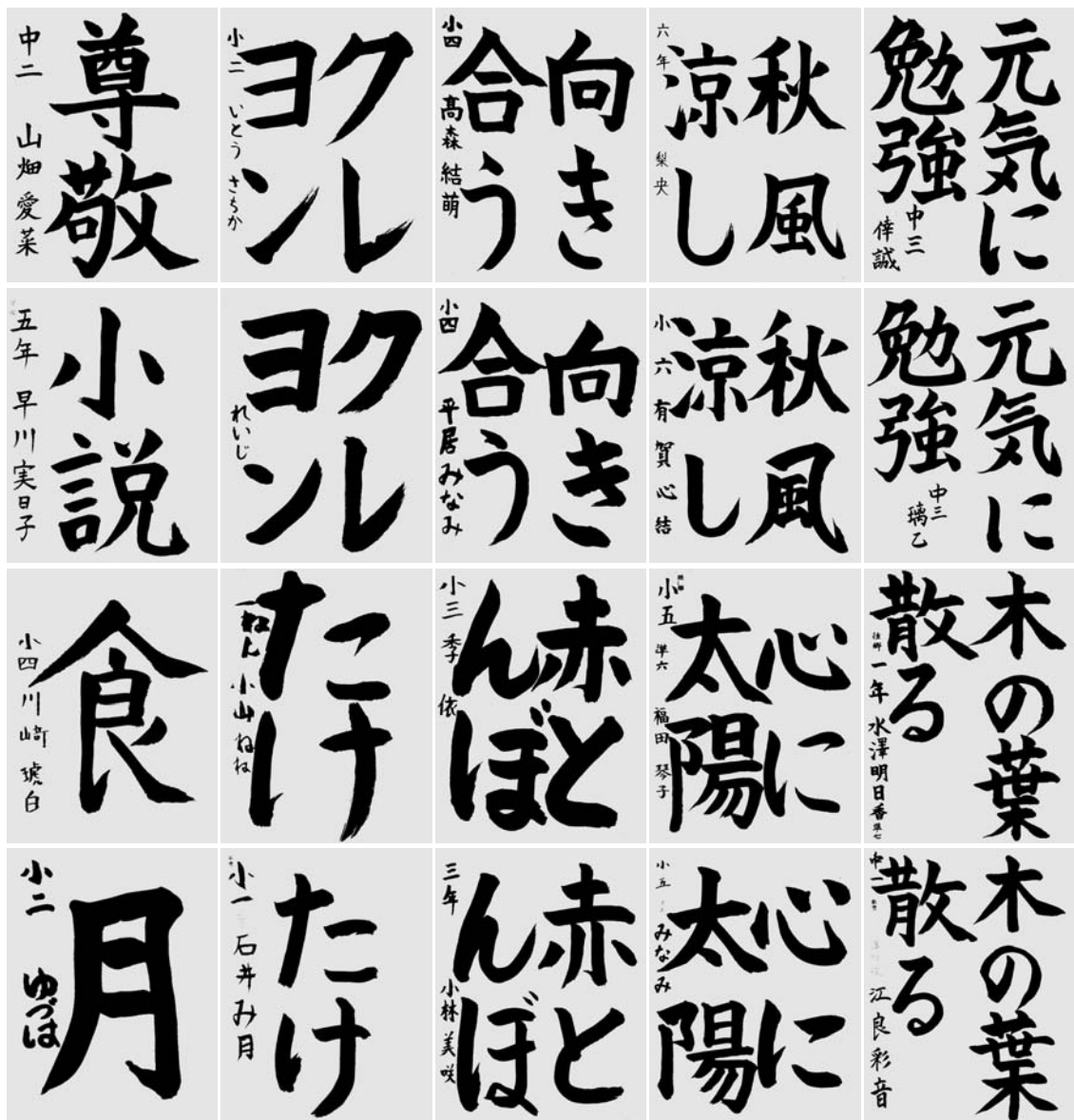
周藤文界 若さみなぎるそれでいて繊細さもある作。

西村雪園 行配置による紙面の広がりを感じられる。

新井雄峰 落ちついた書きぶり紙面の使い方が大胆。

山下桂耀 とてもいいねいに慎重に柔らかく書けた。

崎山芳葉 濃いめの墨を鮮やかに使い現代感を表現。



学 生 部

評 坂牛 静心

外山倅誠 起筆の打ち込みがしっかりした秀作。

佐藤璃乙 のびやかで、まとめ方も見事。

水澤明日香 一点一画をおろそかにしない真面目な作。

江良彩音 難しい五文字をバランスよくまとめた。

渡辺梨央 大変余白が美しく、涼やかな作品。

有賀心結 太くどしりとした線で名前も佳。

福田琴子 明るくのびやか。名前のバランスも良い。

澤本みなみ 起筆が強く太めでりっぱな作品。

高森結萌 ていねいな筆運びがとても良い。

平居みなみ 太く、しかも落ちついて書けた。

大平季依 堂々とした作品。強くてりっぱに書けた。

小林美咲 うでがよく動いて、やわらかさもある。

伊藤彩愛 むずかしいハライがじょうずにかけた。

原口礼慈 太いせんでかけた。かたちもよい。

小山寧々 うでを大きくうごかせてすばらしい。

石井都月 おてほんをよくみてかたちよくかけた。

半紙 随意

評 田中 珠光

山畑愛菜 堂々と一画一画しっかり書いています。

早川実日子 形・線質・位置も大変上手にできました。

川崎琥白 二つの右はらいがとてもすばらしい。

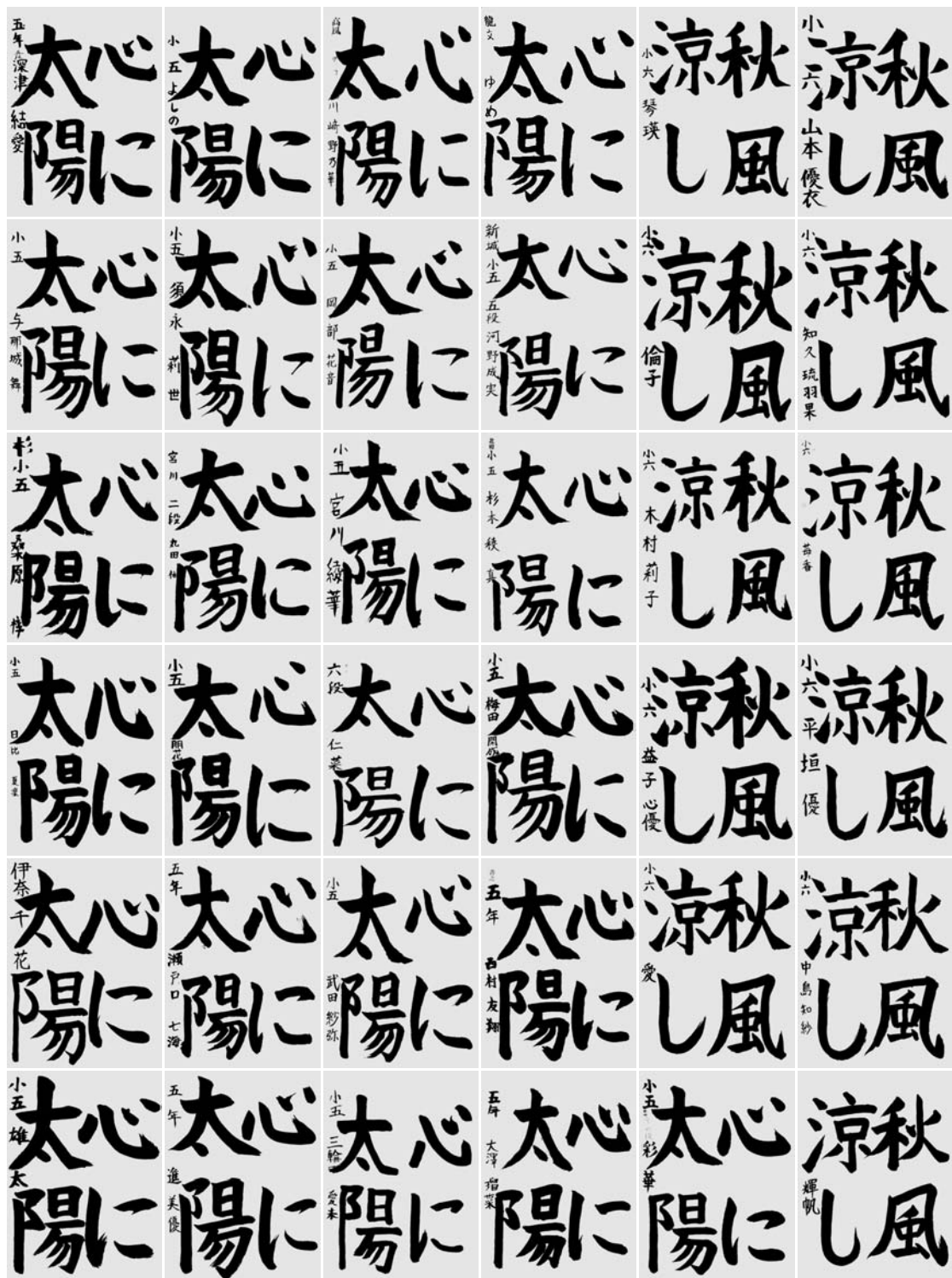
ゆづは のびのびと太く大きくかけましたね。

このページに掲載された人には書象会より記念の筆をさし上げます。

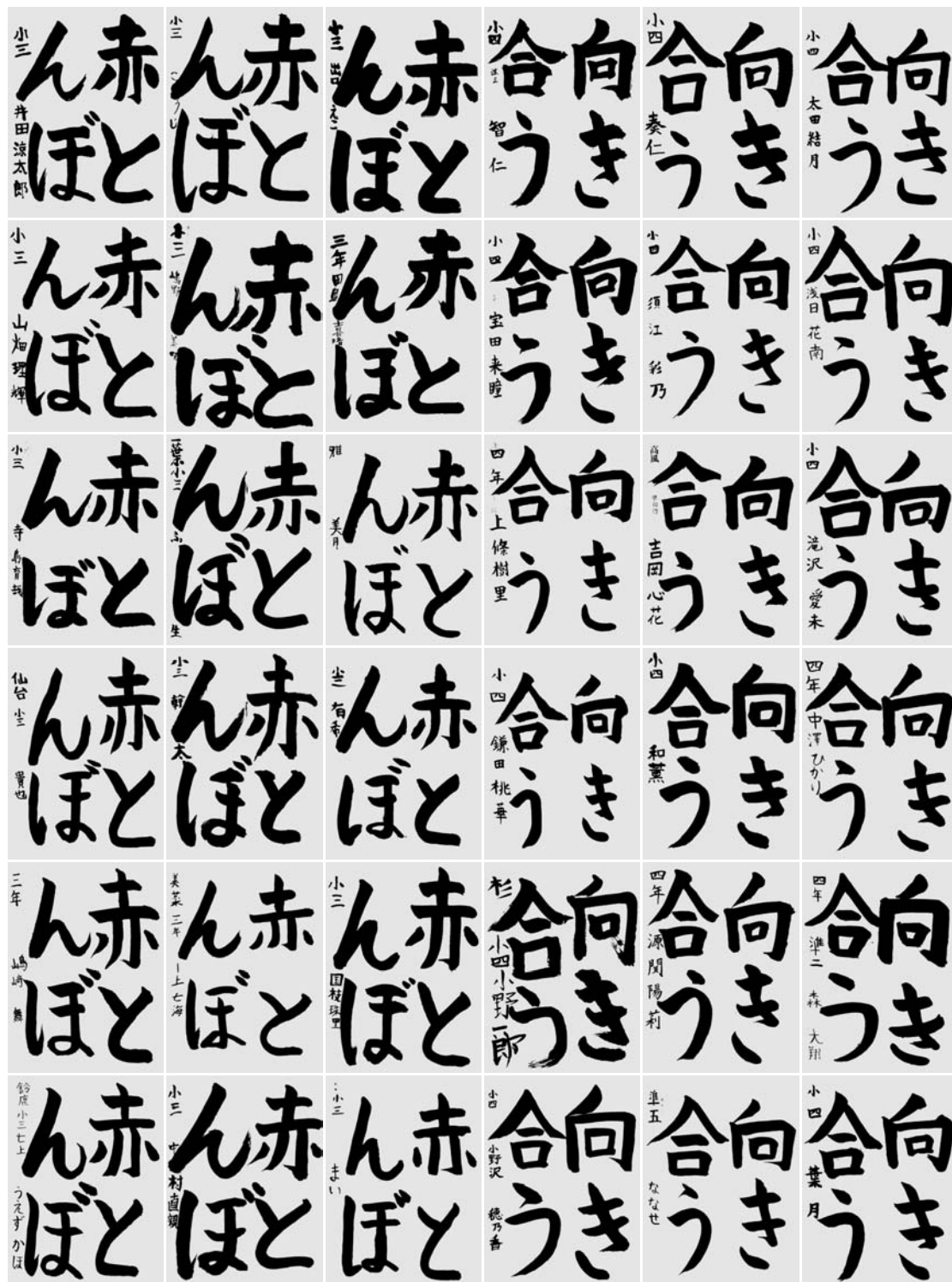
〔樞書〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔級位〕		〔仮名〕		〔段位〕		〔	
------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	---	--

六年 中島 巴采 秋風 涼し	久巻 中一 相澤 沙織 望 木の葉 散る	勉強 中二 淨之 元気に	中三 井伊 彩月 勉強 元気に	杉月 勉強 熊野 枝望 元気に	勉強 彩乃 元気に
六年 杉 紗良 秋風 涼し	中一 大翔 木の葉 散る	中一 深澤 美心 木の葉 散る	中二 藤島 未玖 勉強 元気に	中三 塚田 紅愛 勉強 元気に	中三 阿部 ののか 勉強 元気に
小六 如 柚李 秋風 涼し	中二 中サシ 茉凜 木の葉 散る	中 相原 彩 木の葉 散る	中二 紗和 勉強 元気に	中二 松下 遥香 勉強 元気に	中二 萩島 琉女 勉強 元気に
小六 田口 舞絃 秋風 涼し	小六 河崎 愛音 秋風 涼し	中二 津七 土屋 優音 木の葉 散る	大塚 由奈 勉強 元気に	中三 茉奈 勉強 元気に	中二 仲野 結花 勉強 元気に
小六 森山 紗菜 秋風 涼し	小六 咲南 秋風 涼し	中一 若尾 信 木の葉 散る	市山 愛 勉強 元気に	中三 白井 まみ 勉強 元気に	中二 水野 楠南 勉強 元気に
小六 勝濱 昊之輔 秋風 涼し	六年 五段 大坪 琴音 秋風 涼し	中一 歩夢 木の葉 散る	中三 良介 勉強 元気に	土筆 中三 高瀬 花 勉強 元気に	中三 坂口 菜々子 勉強 元気に

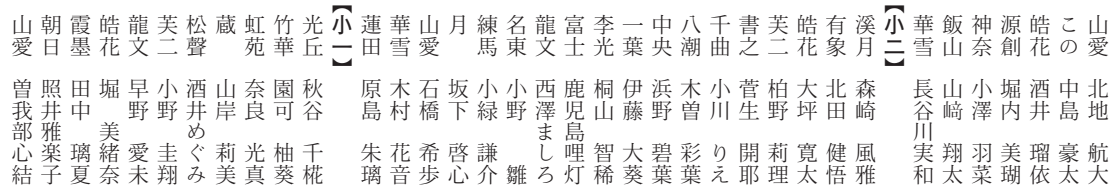
〔毛筆〕
 中二・三
 名城 中島 彩乃
 華雪 阿部ののか
 霞墨 萩島 琉女
 硯扇 仲野 綾花
 高社 水野 侑南
 この 坂口 菜々子
 杉月 熊野 枝望
 青雲 塚田 紅愛
 美苑 高田 遥香
 りん 高田 茉奈
 虹友 白井 まみ
 土筆 高瀬 花
 美那 井伊 彩月
 竹華 藤嶋 未玖
 宇土 福原 紗和
 珠紅 大塚 由奈
 玄黙 布山 奈愛
 秀雪 相崎 良介
 北府 佐藤 浄之
 〔中一〕
 霞墨 深澤 美心
 茅野 桐原 彩
 倭 土屋 優音
 凛心 岡 蒼悟
 光丘 伊東 歩夢
 久喜 相澤 織里
 秀雪 澤田 大翔
 サシ 山本 茉凜
 唯心 河崎 愛音
 華雪 伊藤 咲南
 皓花 大坪 琴音
 この 中島 芭菜
 硯野 杉 紗良
 中野 田口 舞絃
 練馬 森山 紗菜
 聖馬 勝濱 昊之輔
 名東



一絵	伊奈	瑞祥	杉	練馬	美五	富貴	宝春	みな	宮川	名東	めぐ	有穂	優生	美二	照澤	若宮	高風	大田	書之	秀雪	北府	新城	龍文	華雪	【小五】	秀雪	霞墨	大象	光丘	玄嶽	玄嶽	若竹	八潮	竹華	若葉	有虹
鈴木	上林	日比	桑原	与那城	深津	進	瀬戸口	木村	丸田	須永	宮川	三輪	武田	柏野	宮川	岡部	川崎	大澤	西村	梅田	杉本	河野	古内	齊藤	小林	益子	木村	金子	塚越	秋田	中島	平垣	篠宮	知久	山本	
雄太	千花	夏凜	梓	舞	結愛	美優	七海	朋花	柚香	莉世	しの	愛未	紗弥	仁菜	綾華	花音	乃華	瑠菜	友翔	開成	うま	成実	ゆめ	彩華	愛	心優	莉子	倫子	琴瑛	輝帆	知紗	優	苺香	琉羽果	優衣	



鈴鹿	硯台	仙崎	中野	練馬	有穂	城彩	美菜	房風	一葉	葉月	秀雪	石峯	玄黙	光丘	雅	シ	志摩	【小三】	高社	杉心	柏心	湊	倭	綾華	美二	平成	若松	高風	若竹	光丘	秀雪	小光	千曲	須坂	硯扇	秦野	【小四】
上江洲	嶋崎	石川	寺島	山畑	井田	中村	三井	藤木	西脇	嶋野	阪本	梶原	国枝	風澤	小林	田島	出口	小野	小野	鎌田	上條	宝田	富井	堀内	源関	松田	吉岡	須江	上運	篠田	森	中澤	滝澤	浅日	太田	結月	
香歩	舞	貴也	育哉	理輝	涼太郎	直親	七海	幹太	楓生	美咲	行持	苺	珠里	有希	美月	喜晴	絵子	乃香	桃華	樹里	来瞳	智仁	七星	陽莉	和薫	心花	彩乃	秦仁	葉月	大翔	愛未	花南					



佐藤と大崎二人が生涯をかけて協同制作
する芸術であり、その作品を併存にする
にはえがたゆめ、努力の協力が必要だとい

佐藤 大崎

文化祭の準備が始まった。書道部は
夏やすみ中に制作した作品に解説を
付けて展示する。 中三
川口来香

知識には限りがある。想像
する力は世界をも包みこむ。
アインシュタイン
愛心 六・準二
山野寺花純

知識には限りがある。想像
する力は世界をも包みこむ。
アインシュタイン
船橋 六・準二
山口巧真

二学期も早起きをして
きそく正しい生活ですこ
しましよう。 西野 遼香

二学期も早起きをして
きそく正しい生活ですこ
しましよう。 河嶋 里奈

ねこのたまは、わ
たしのたいじなか
そくです。

佐藤と大崎二人が生涯をかけて協同制作
する芸術であり、その作品を併存にする
にはえがたゆめ、努力の協力が必要だとい

佐藤 大崎

文化祭の準備が始まった。書道部は
夏やすみ中に制作した作品に解説を
付けて展示する。 湊 中二準二
務台 敦也

知識には限りがある。想像
する力は世界をも包みこむ。
アインシュタイン
サン 五・七
松尾 紗田季

知識には限りがある。想像
する力は世界をも包みこむ。
アインシュタイン
船橋 六・準二
田村 隼真

二学期も早起きをして
きそく正しい生活ですこ
しましよう。 佐々木 聖輝

二学期も早起きをして
きそく正しい生活ですこ
しましよう。 龍文 四・準二
河嶋 里奈

ねこのたまは、わ
たしのたいじなか
そくです。

どうせ分かってもらえない人間って
こんなものと思込んでいる人の強
さというか、五本寛之のことは 見替

文化祭の準備が始まった。書道部は
夏やすみ中に制作した作品に解説を
付けて展示する。 京都 中二準二
浜田 心希

知識には限りがある。想像
する力は世界をも包みこむ。
アインシュタイン
船橋 六・準二
永石 咲季

知識には限りがある。想像
する力は世界をも包みこむ。
アインシュタイン
船橋 六・準二
島村 優心

二学期も早起きをして
きそく正しい生活ですこ
しましよう。 船橋 六・準二
島村 優心

二学期も早起きをして
きそく正しい生活ですこ
しましよう。 杉田 史

ねこのたまは、わ
たしのたいじなか
そくです。

文化祭の準備が始まった。書道部は
夏やすみ中に制作した作品に解説を
付けて展示する。 霞墨 中二準二
山田 愛

知識には限りがある。想像
する力は世界をも包みこむ。
アインシュタイン
船橋 六・準二
中山 心

知識には限りがある。想像
する力は世界をも包みこむ。
アインシュタイン
船橋 六・準二
内田 樹里

二学期も早起きをして
きそく正しい生活ですこ
しましよう。 名取 四
田中 駿太

〔硬筆〕

【一般】
玄黙 高平 光紗
小平 藤井 和華
長野 宮澤 晃静
【中学】
霞墨 山田 愛
有象 川口 菜々香
湊 務台 敦也
京都 濱田 心希
【小五・六】
皓花 中山 心
愛心 小野 寺花純
サン 松尾 紗田季
倭 永石 咲季

みな 内田 樹里
船橋 出口 巧真
一絵 田村 隼真
静翠 島村 優心
【小三・四】
名東 西野 遥香
玄樸 佐々木 響輝
雅 青木 美鈴
若松 河嶋 里奈
華雪 岡野 心優
龍文 坂田 史
杉 坂田 史
【小一・二】
中野 金井 虹璃
凛心 上西 真優
大阪 落合 君江

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

[illegible]

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

[illegible]

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

[illegible]

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

[illegible]

1 級初級	準準 二二	7 5 2 1 級級級級	初準準五 段段段段	特準 一五	準準 六六	中 學	6 5 下小	8 下	7 5 4 3 下下上中	4 3 小	8 5 5 4 下下上上	2 初級	準準 三三	6 5 4 4 3 小上上下上	2 2 1 中上中上	準準 二二	5 4 3 2 小中上下	3 2 下下																		
永井 麗	山平 平	前重 坂和	河崎 崎	原虎 瀬	広瀬 依	加藤 駿	開山 咲	関園 部	細野 澤	柳澤 凜	濱部 友	園部 心	細野 夏	六 愛	中 學	久保 謙	服部 素	原部 優	関部 瑞	石部 端	宮部 玉	二 鈴	北矢 作	矢部 平	高橋 理	三市 志	木世 世	西尾 風	五山 結	宮須 陽	太山 田	小服 栗	四友 谷	三永 谷	重輪 空	一麗 麗

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

青少年に心の安らぎを与え、豊かな情操を養うことを願い



主 催：成田山全国競書大会実行委員会
後 援：中国書法家協会／中国大使館／読売新聞社

お問合せ **成田山全国競書大会実行委員会事務総局**
TEL 0476-24-2017 (直通) FAX 0476-24-2084

ホームページ <http://www.naritasan-kyosho.jp>

書象誌は消費税率の上昇と諸経費の増加に伴ない、現状の価格を維持することが困難になってまいりました。

誠に恐縮に存じますが、書象誌代を左記の通り改訂させていただくことになりました。何卒ご理解の上、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

一月号より 一冊六二五円 送料 一冊……八五円

なお、出品料は、なるべく誌代とあわせて現金納入をお願いします。

※十月一日より筆、基本帖、硬筆用紙等の代金および送料も変更となりましたので、お問い合わせて下さい。

〈有限会社「書象」〉

◆第72回長野県書道展覧会（本会関係入賞者）

(審査員) 金田成仁 成沢臨舟 金井鐘華
原山翠光 笠原泰山 ○竹内墨洋
(○印は本年度当番審査員)

(県展選奨)寺尾碩雲

(特選) 下平成苑 藤原鐘雪

(秀作) 今福揚光 柳田志華 大和恵星

(褒状) 氏原梅恵 小田切静唱 木内洞舟

小林貞月 二木廣山 柳澤景花 吉池樺舟

◆第二回房風会書展

十月十七日(木)～二十一日(月)に富津市役所で開催予定でした

☆第41回小平市民書道展

会期 十月十七日(木)～二十日(日)

会場 ルネこだいら二階 展示室

出品者 藤岡月華他十二名

☆第52回一照会書道展

会期 十月二十六日(土)～二十七日(日)

会場 舞鶴市西駅交流センター

主催 一照会（多田照楓先生）

☆第69回杉並区総合文化祭

「美術作品展」

会期 十月二十六日(土)～三十日(水)

会場 セシオン杉並 展示室

出品者 杉山曉雲 杉山窓影（本会関係）

☆第28回書象会瀬戸支部展

会期 十月二十八日(月)～十一月七日

会場 瀬戸市品野郵便局ギャラリー

主宰 長谷川石心

☆S H O・杉並
VOL 2

会期 十一月五日(火)～十日(日)

午前十一時～午後七時（最終日十七時終了）

会場 鳩居堂画廊三階

出品者 杉山 暁雲（本会関係）

昇段級試験
師範昇格試験
特待生試験

秋季
要項

左記の要項にもとづき昇段級試験並びに師範昇格試験、特待生試験を行います。ふるって力作を御出品ください。

昇段級試験

出品規定

●小・中学生

- 十一月号の毛筆規定
- 十一月号の硬筆規定

●一般

- 十月号の漢字条幅規定
- 十一月号の隷書条幅規定
- 十一月号の楷書臨書規定
- 十月号の行書臨書規定
- 十一月号のかな規定
- 十一月号の硬筆規定

出品料

- 小学 生一点につき 五〇〇円
- 中学 生一点につき 五〇〇円
- 一般 一点につき 一〇〇〇円

特待生試験

出品資格

●小・中学生で現在準八段の者

出品規定

●小・中学生は昇段級試験と同じ

(級位用)

出品料

- 小学 生一点につき 五〇〇円
- 中学 生一点につき 五〇〇円

師範昇格試験

出品資格

準師範試験 一般部で準五段・五段の者

出品規定

師範試験 準師範の者

出品料

昇段級試験の一般部規定に同じ 一体につき

☆準師範試験

四〇〇〇円

☆師範試験

五〇〇〇円

出品の手続き

- 1 支部及び個人宛に要項、出品目録、師範・準師範・特待生試験受験名簿、申請書を送ります。
- 2 師範・準師範・特待生試験受験者は名簿に必要事項を記入し、作品にバーコード出品券を必ず貼付の上、共に提出すること。
- 3 返信封筒は不要となりました。
- 4 段級位の認定証は一部三〇〇円です。認定証の要のみ申請書に記入し、「要」の場合は出品料の欄に加算すること。

(個人で認定証を申込み時は返信切手二二〇円を同封し、返信用封筒は不要)

- 5 師範の認定証は二月号発表後に申し込む。
- 6 為替・振込にての送金は御遠慮下さい。

出品料が千円以下の場合も切手でも結構です。

締切日 十一月二十一日(木) (厳守願います)

発表

出品者あて成績通知をもって発表にかえさせていただきます。

師範試験及び特待生試験の合格者は二月号誌上に発表の予定。

出品先

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三六 上條方

書象会 藤森大節 へ

☆第五十回記念「玄武書道展」

併催「玄武先達遺墨展」

会期 十一月十二日(火)～十七日(日)

十一時～十九時 (最終日十七時終了)

会場 銀座鳩居堂画廊

出品者 杉山 暁雲 (本会関係)

☆傘寿記念ふるさと喬木 田中節山書展

会期 十一月十五日(金)～十七日(日)

会場 棕鳩十記念館 (長野県下伊那郡喬木村)

☆「巳歳の会」書展

会期 十一月十九日(火)～二十四日(日)

会場 東京銀座画廊美術館7階

出品者 市澤静山 鈴木春鳳 山口啓山 杉山窓影 藤澤珠玉 武原幽節 (本会関係)

《書展報告》

☆書 陶 華の響展 村山麗恵

会期 九月二十六日(木)～二十九日(日)

会場 アートギャラリー 884 (文京区本郷)

特別出陳 上條信山先生

謹んで台風十五号の被害にあわれた皆様へ、お見舞いを申し上げます。

この度の台風十五号により、大規模停電や住宅損害にあわれ、困難に直面しておられる皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

書象会

発行人 (有) 書象

代表 上 條 節 夫

東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三六

郵便番号180-0001 電話〇四三(五三)九七四三

振替口座 〇〇一九〇一七二二五六九一

振替名義 (有) 書象

印刷所 株式会社 リンクス

氏名